

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-293096

(43)Date of publication of application : 11.11.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 08-106918

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 26.04.1996

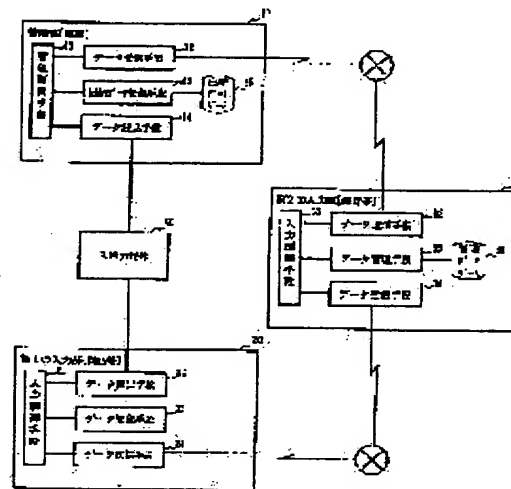
(72)Inventor : HORIE YUKIKO

## (54) AUTOMATIC MANAGEMENT SYSTEM OF HOUSEHOLD ACCOUNT DATA

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To manage household account data without omission by reading account data without credit, which is written by an input part, from an input and output medium and storing it.

SOLUTION: Since payment is executed through the use of cash and a credit card at the time of shopping in a store, etc., the first input part 20 judges the method for payment. When shopping is executed by cash, that is, the method except credit, a data writing means 22 writes shopping data such as an item name, quantity, a price, etc., in the input and output medium 40 based on information managed by a data managing means 23. When shopping is executed by the credit card, etc., that is, on credit, a data transmitting means 24 transmits shopping data such as the item name, quantity, the price, etc., to the second input part 30 based on information managed by the data managing means 23. When reception is executed in a data receiving means 34, the data managing means 33 stores the payment data and money reception in a management database 35.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.04.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 16.06.1998

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-293096

(43) 公開日 平成9年(1997)11月11日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 6 F 15/21

技術表示箇所

P

審査請求 有 請求項の数12 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平8-106918

(22) 出願日 平成8年(1996)4月26日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 堀江 由記子

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

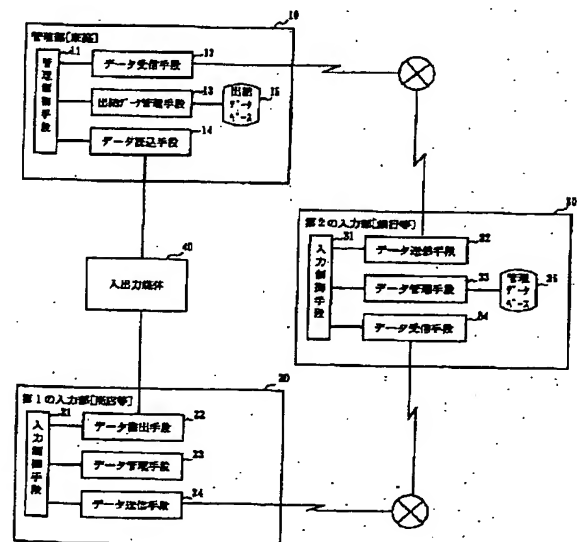
(74) 代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 家庭用出納データ自動管理システム

(57) 【要約】

【課題】 カード以外の支払方法による出金データ、銀行独自に発生する入出金データ、その他の入出金データを漏れなく家計簿に反映させる。

【解決手段】 店舗等の第1の入力部は、掛によらない出納データを入出力媒体に書き込むとともに、掛による出納データを通信回線を介して銀行等の第2の入力部へ送信し、第2の入力部は、第1の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して家庭等の管理部へ送信し、管理部は、第1の入力部における掛によらない出納データを入出力媒体から読み込むとともに、第1の入力部における掛による出納データを第2の入力部から受信して、家計簿を作成する。さらに、第2の入力部は、第1の入力部から送られた掛による出納データ以外の出納データを通信回線を介して管理部へ送信し、管理部は、第1の入力部および第2の入力部から入力する出納データ以外の出納データを直接入力させる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、

前記入力部は、掛によらない出納データを入出力媒体に書き込み、

前記管理部は、前記入力部によって書き込まれた掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込んで記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項2】 第1の入力部および第2の入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、

前記第1の入力部は、掛による出納データを通信回線を介して前記第2の入力部へ送信し、

前記第2の入力部は、前記第1の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部へ送信し、

前記管理部は、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項3】 第1の入力部および第2の入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、

前記第1の入力部は、掛によらない出納データを入出力媒体に書き込むとともに、掛による出納データを通信回線を介して前記第2の入力部へ送信し、

前記第2の入力部は、前記第1の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部へ送信し、

前記管理部は、前記第1の入力部によって書き込まれた掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込むとともに、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項4】 前記第2の入力部は、さらに、前記第1の入力部から送られた掛による出納データ以外の出納データを通信回線を介して前記管理部へ送信し、

前記管理部は、さらに、該出納データを前記第2の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする請求項3に記載の家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項5】 前記管理部は、さらに、前記第1の入力部および前記第2の入力部から入力する出納データ以外の出納データを直接入力して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする請求項4に記載の家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項6】 前記管理部は、さらに、前記第1の入力

部または前記第2の入力部から、あるいは直接入力された出納データに基づいて家計簿を作成することを特徴とする請求項5に記載の家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項7】 入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、

前記入力部は、掛によらない出納データを前記入出力媒体に書き込むとともに、該出納データに基づいて該入出力媒体における現金残高を更新し、

前記管理部は、前記入力部によって書き込まれた掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込んで記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項8】 第1の入力部および第2の入力部から取得した出納データを管理部において管理するとともに、第2の入力部から取得した出納データを通貨流通部において記憶する家庭用出納データ自動管理システムであって、

前記第1の入力部は、掛による出納データを通信回線を介して前記第2の入力部へ送信し、

前記第2の入力部は、前記第1の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部および前記通貨流通部へ送信し、

前記通貨流通部は、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信し、該出納データに基づいて前記入出力媒体における現金残高を更新し、

前記管理部は、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項9】 第1の入力部および第2の入力部から取得した出納データを管理部において管理するとともに、第2の入力部から取得した出納データを通貨流通部において記憶する家庭用出納データ自動管理システムであって、

前記第1の入力部は、掛によらない出納データを前記入出力媒体に書き込み、該出納データに基づいて該入出力媒体における現金残高を更新するとともに、掛による出納データを通信回線を介して前記第2の入力部へ送信し、

前記第2の入力部は、前記第1の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部および前記通貨流通部へ送信し、

前記通貨流通部は、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信し、該出納データに基づいて前記入出力媒体における現金残高を更新し、

前記管理部は、前記第1の入力部によって書き込まれた

掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込むとともに、前記第 1 の入力部における掛による出納データを前記第 2 の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項 10】 前記第 2 の入力部は、さらに、前記第 1 の入力部から送られた掛による出納データ以外の出納データを通信回線を介して前記管理部および前記通貨流通部へ送信し、

前記通貨流通部は、さらに、該出納データを前記第 2 の入力部から受信し、該出納データに基づいて前記入出力媒体における現金残高を更新し、

前記管理部は、さらに、該出納データを前記第 2 の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする請求項 9 に記載の家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項 11】 前記管理部は、さらに、前記第 1 の入力部および前記第 2 の入力部から入力する出納データ以外の出納データを直接入力して記憶することにより、該出納データの管理を行うことを特徴とする請求項 10 に記載の家庭用出納データ自動管理システム。

【請求項 12】 前記管理部は、さらに、前記第 1 の入力部または前記第 2 の入力部から、あるいは直接入力された出納データに基づいて家計簿を作成することを特徴とする請求項 11 に記載の家庭用出納データ自動管理システム。

#### 【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】本発明は、家庭における出納データを自動的に管理する家庭用出納データ自動管理システムに関する。

#### 【0001】

【従来の技術】家計簿作成に関する従来技術としては、特開平 1-120665 号公報にあるように、商店等の POS 端末と銀行のコンピュータシステムと家計簿作成用利用者端末とを接続して、該 POS 端末が設置された商店等における商品等の購入金額が銀行のコンピュータシステムおよび利用者端末に送信される構成を備えたものがあった。

#### 【0002】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この従来の技術においては、家計簿作成の契機となるデータは、カードを利用した買い物のデータのみであり、カード以外の支払方法で買い物等をした場合、そのデータが家計簿に反映されないという問題点があった。

【0003】また、家計簿作成の契機となるデータが銀行の口座に対する出金データに限定されており、銀行の口座に対して入金データがあったとしてもそのデータが家計簿に反映されないという問題点があった。

【0004】本発明の目的は、家庭における出納データを漏れなく管理することにある。

【0005】本発明の他の目的は、カード以外の支払方法で買い物等をした場合であっても、そのデータが家計簿に反映されるようにすることにある。

【0006】また本発明の他の目的は、入金データが家計簿に反映されるようにすることにある。

#### 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の第 1 の家庭用出納データ自動管理システムは、入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、前記入入力部は、掛によらない出納データを入出力媒体に書き込み、前記管理部は、前記入入力部によって書き込まれた掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込んで記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0008】本発明の第 2 の家庭用出納データ自動管理システムは、第 1 の入力部および第 2 の入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、前記第 1 の入力部は、掛による出納データを通信回線を介して前記第 2 の入力部へ送信し、前記第 2 の入力部は、前記第 1 の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部へ送信し、前記管理部は、前記第 1 の入力部における掛による出納データを前記第 2 の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0009】本発明の第 3 の家庭用出納データ自動管理システムは、第 1 の入力部および第 2 の入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、前記第 1 の入力部は、掛によらない出納データを入出力媒体に書き込むとともに、掛による出納データを通信回線を介して前記第 2 の入力部へ送信し、前記第 2 の入力部は、前記第 1 の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部へ送信し、前記管理部は、前記第 1 の入力部によって書き込まれた掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込むとともに、前記第 1 の入力部における掛による出納データを前記第 2 の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0010】本発明の第 4 の家庭用出納データ自動管理システムは、第 3 の家庭用出納データ自動管理システムにおいて、前記第 2 の入力部は、さらに、前記第 1 の入力部から送られた掛による出納データ以外の出納データを通信回線を介して前記管理部へ送信し、前記管理部は、さらに、該出納データを前記第 2 の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0011】本発明の第 5 の家庭用出納データ自動管理システムは、第 4 の家庭用出納データ自動管理システムにおいて、前記管理部は、さらに、前記第 1 の入力部および前記第 2 の入力部から入力する出納データ以外の出納データを直接入力して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

## 5

【0012】本発明の第6の家庭用出納データ自動管理システムは、第5の家庭用出納データ自動管理システムにおいて、前記管理部は、さらに、前記第1の入力部または前記第2の入力部から、あるいは直接入力された出納データに基づいて家計簿を作成する。

【0013】本発明の第7の家庭用出納データ自動管理システムは、入力部から取得した出納データを管理部において管理する家庭用出納データ自動管理システムであって、前記入力部は、掛によらない出納データを前記入出力媒体に書き込むとともに、該出納データに基づいて該入出力媒体における現金残高を更新し、前記管理部は、前記入力部によって書き込まれた掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込んで記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0014】本発明の第8の家庭用出納データ自動管理システムは、第1の入力部および第2の入力部から取得した出納データを管理部において管理するとともに、第2の入力部から取得した出納データを通貨流通部において記憶する家庭用出納データ自動管理システムであって、前記第1の入力部は、掛による出納データを通信回線を介して前記第2の入力部へ送信し、前記第2の入力部は、前記第1の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部および前記通貨流通部へ送信し、前記通貨流通部は、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信し、該出納データに基づいて前記入出力媒体における現金残高を更新し、前記管理部は、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0015】本発明の第9の家庭用出納データ自動管理システムは、第1の入力部および第2の入力部から取得した出納データを管理部において管理するとともに、第2の入力部から取得した出納データを通貨流通部において記憶する家庭用出納データ自動管理システムであって、前記第1の入力部は、掛によらない出納データを前記入出力媒体に書き込み、該出納データに基づいて該入出力媒体における現金残高を更新するとともに、掛による出納データを通信回線を介して前記第2の入力部へ送信し、前記第2の入力部は、前記第1の入力部から受信した掛による出納データを通信回線を介して前記管理部および前記通貨流通部へ送信し、前記通貨流通部は、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信し、該出納データに基づいて前記入出力媒体における現金残高を更新し、前記管理部は、前記第1の入力部によって書き込まれた掛によらない出納データを前記入出力媒体から読み込むとともに、前記第1の入力部における掛による出納データを前記第2の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0016】本発明の第10の家庭用出納データ自動管

## 6

理システムは、第9の家庭用出納データ自動管理システムにおいて、前記第2の入力部は、さらに、前記第1の入力部から送られた掛による出納データ以外の出納データを通信回線を介して前記管理部および前記通貨流通部へ送信し、前記通貨流通部は、さらに、該出納データを前記第2の入力部から受信し、該出納データに基づいて前記入出力媒体における現金残高を更新し、前記管理部は、さらに、該出納データを前記第2の入力部から受信して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0017】本発明の第11の家庭用出納データ自動管理システムは、第10の家庭用出納データ自動管理システムにおいて、前記管理部は、さらに、前記第1の入力部および前記第2の入力部から入力する出納データ以外の出納データを直接入力して記憶することにより、該出納データの管理を行う。

【0018】本発明の第12の家庭用出納データ自動管理システムは、第11の家庭用出納データ自動管理システムにおいて、前記管理部は、さらに、前記第1の入力部または前記第2の入力部から、あるいは直接入力された出納データに基づいて家計簿を作成する。

【0019】

【発明の実施の形態】次に、本発明の一実施例について図面を参照して詳細に説明する。

【0020】図1を参照すると、本発明の第1の実施例は、買い物データを書き込む第1の入力部20と、それらのデータを記憶する入出力媒体40と、入金、出金データを蓄積し、通信回線を通して送信する第2の入力部30と、全てのデータを取り込み蓄積して家計簿データ（家庭用出納データ）を自動作成する管理部10とを含む。

【0021】第1の入力部20は、入力制御手段21と、データ書出手段22と、データ管理手段23と、データ送信手段24とを備えている。

【0022】入力制御手段21は、データ書出手段22、データ管理手段23、データ送信手段24を制御する。

【0023】データ書出手段22は、カード以外の支払い方法による買い上げデータを、POSやパソコン等に付属したカードリーダー/ライター等により入出力媒体40に出力する。

【0024】データ管理手段23は、POSやパソコン等により、商品の名前や値段等のデータを管理している。

【0025】データ送信手段24は、カードによる買い上げデータを第2の入力部30へ通信回線を通して送信する。

【0026】第2の入力部30は、入力制御手段31と、データ送信手段32と、データ管理手段33と、データ受信手段34と、管理データベース35とを備えている。

【0027】入力制御手段31は、データ送信手段32、データ管理手段33、データ受信手段34を制御する。

【0028】データ送信手段32は、管理データベース35から定期的に、また必要に応じてデータを抽出し、管理部10へ通信回線を通して送信する。

【0029】データ管理手段33は、カードによる買い物や銀行等の金融機関から引き落とされる光熱費等の出金データや、給与振込等の入金データを蓄積する管理データベース35を管理する。

【0030】データ受信手段34は、第1の入力部20より送信されてきたデータを受信する。

【0031】管理部10は、管理制御手段11と、データ受信手段12と、出納データ管理手段13と、データ読込手段14と、出納データベース15とを備えている。

【0032】管理制御手段11は、データ受信手段12、出納データ管理手段13、データ読込手段14を制御する。

【0033】データ受信手段12は、第2の入力部30より送信されてきたデータを受信する。

【0034】出納データ管理手段13は、データ受信手段12やデータ読込手段14から取り込まれた入金、出金のデータを家計簿につけるように分類し、整理しまとめていつでも利用できるように出納データベース15に蓄積する。

【0035】データ読込手段14は、入出力媒体40に記憶された買い物データをパソコン等に付属したカードリーダー/ライター等によって読み取るとともに、手入力が必要なデータについてはキーボード等により入力、修正等を行う。

【0036】次に、本発明の第1の実施例の動作について、図1～図4を参照して、詳細に説明する。

【0037】先ず、図2を参照して、第1の入力部20〔商店等〕において、買い物をした場合について説明する。

【0038】商店等での買い物においては、現金やクレジットカード等を使用して支払いが行われるので、第1の入力部20ではいかなる方法で支払われたかを判断する(ステップ201)。

【0039】現金等すなわち掛以外の方法で買い物をした場合、データ書出手段22は、データ管理手段23が管理する情報に基づいて、品名、数量、値段等の買い物データを、入出力媒体40に書き込む(ステップ202)。

【0040】また、クレジットカード等すなわち掛で買い物をした場合、データ送信手段24は、データ管理手段23が管理する情報に基づいて、品名、数量、値段等の買い物データを、第2の入力部30へ送信する。

【0041】次に、図3を参照して、第2の入力部30

〔信販会社、銀行等の金融機関〕において、入金、出金の処理が行われた場合について説明する。

【0042】振込等による入金データ、自動引落等による出金データ、あるいは、第1の入力部から送られた出金データをデータ受信手段34が受信すると、データ管理手段33は、その出金データや入金データを管理データベース35に蓄積する(ステップ301)。

【0043】そして、データ送信手段32は、管理データベース35から定期的に、また必要に応じてデータを抽出し、管理部10へ通信回線を介して送信する(ステップ302)。

【0044】このようにして入力された入金データおよび出金データを管理部10で家計簿のデータとして使用する場合について、図4を参照して説明する。

【0045】第2の入力部30からの入金データあるいは出金データがあるか否かを判断し(ステップ401)、データがあれば、データ受信手段12は、そのデータを管理部10に取り込む(ステップ402)。

【0046】また、第1の入力部30が入出力媒体40に書き込んだ買い物データがあるか否かを判断し(ステップ403)、データがあれば、データ読込手段14は、カードリーダー/ライター等によりそのデータを読み込む(ステップ404)。

【0047】さらに、現金による入金データや、冠婚葬祭や、その他の自動管理不可能なデータを手入力する必要があるか否かを判断し(ステップ405)、その必要があれば、キーボード等によるデータの入力を促し、入力されたデータを出納データベース15に蓄積することにより、家庭における入出金データを漏れなく管理する(ステップ406)。

【0048】以上により、本発明の一実施例の動作が終了する。

【0049】次に、本発明の第1の実施例の動作を、図1～図4を参照して、具体的な例により説明する。

【0050】図2を参照すると、例えば、スーパー等の商店すなわち第1の入力部20で、いちごと牛乳と牛肉を買ったとすると、そのデータがレジに入力される。それを現金で支払うとき、入出力媒体40のカードをレジの係に渡し、そこでカードライターに差し込むと、第1の入力部20内のデータ書出手段22は、「いちご1パック450円、牛乳1リットル198円、牛肉400g1200円・・・」というような買い物データを入出力媒体40のカードに書き込む(ステップ202)。利用者が買い物データの書き込まれた入出力媒体40のカードを家に持ち帰り、カードリーダーに差し込むと、管理部10内のデータ読込手段14は、記録された買い物データをパソコン等の管理用マシンに取り込む(ステップ404)。

【0051】あるいはクレジットカードで支払いを行った場合は、第1の入力部20内のデータ送信手段24

は、そのデータを引き落とし口座のある金融機関すなわち第2の入力部30に送信する(ステップ203)。すると、第2の入力部30内のデータ受信手段34は、そのデータを処理、蓄積し(ステップ301)、データ送信手段32は、例えば、「〇月〇日に口座から×円引き落とされます」というデータを利用者すなわち管理部10に送信する。そして、代金が実際に引き落としされたときに、そのデータと残高データを送信する(ステップ302)。

【0052】これにより、利用者が家庭の管理用マシンすなわち管理部10を操作することにより、管理部10内のデータ受信手段12は、そのデータを受け取って管理する(ステップ402)。

【0053】また、給料が銀行等の金融機関すなわち第2の入力部30に振り込まれたとき、第2の入力部30内のデータ管理手段33は、そのデータを蓄積し(ステップ301)、データ送信手段32は、例えば、「〇月〇日に△△から×円振り込まれました」というデータを利用者に送信する(ステップ302)。

【0054】これにより、利用者が家庭の管理用マシンすなわち管理部10を操作することにより、管理部10内のデータ受信手段12は、そのデータを受け取って管理する(ステップ402)。

【0055】さらに、その他の入金、出金データで、冠婚葬祭費、自動販売機の出費等の手入力が必要な場合は、管理用マシンすなわち管理部10にキーボード等から直接手入力を行うことにより、管理部10内のデータ読込手段14は、この手入力データを読み込む(ステップ406)。

【0056】次に、本発明の第2の実施例について図面を参照して詳細に説明する。

【0057】図5を参照すると、本発明の第2の実施例は、第1の実施例において、入金、出金における現金の流れを電子通貨にしたものである。つまり、現金での入出金でなく、電子通貨での入出金を行うことにより、入出力媒体40にあたる電子通貨用カードに、買い物データを記憶させている。

【0058】第1の入力部20〔商店等〕における買い物が、現金等すなわち掛以外の方法による場合、データ書出手段22は、データ管理手段23が管理する情報に基づいて、品名、数量、値段等の買い物データを、入出力媒体40にあたる電子通貨用カードに書き込み、電子通貨用カードに記憶してあった現金残高から今回の支払い額をマイナスする。一方、買い物がクレジットカード等すなわち掛による場合、データ送信手段24は、データ管理手段23が管理する情報に基づいて、品名、数量、値段等の買い物データを、第2の入力部30へ送信する。

【0059】第2の入力部30〔信販会社、銀行等の金融機関〕において、振込等による入金データ、自動引落

等による出金データ、あるいは、第1の入力部から送られた出金データをデータ受信手段34が受信すると、データ管理手段33は、その出金データや入金データを管理データベース35に蓄積する。そして、データ送信手段32は、管理データベース35から定期的に、また必要に応じてデータを抽出し、管理部10へ通信回線を介して送信する。さらに、データ出力手段36は、通貨流通部50内の通貨データ要求/受信手段52の要求に応じて通貨データを送信する。

10 【0060】通貨流通部50〔電話等〕において、通貨データ要求/受信手段52は、第2の入力部30に対し、通貨データの送信を要求するとともに、第2の入力部30から送られる通貨データを受信する。通貨データ出力手段53は、その通貨データを入出力媒体40にあたる電子通貨用カードへ出力する。

【0061】さらに、管理部10において、データ受信手段12は、第2の入力部30から入金データあるいは出金データを受信し、データ読込手段14は、入出力媒体40にあたる電子通貨用カードから買い物データを読み込む。さらに、現金による入金データや、冠婚葬祭や、その他の自動管理不可能なデータを手入力する必要がある場合は、キーボード等によるデータの入力を促し、入力されたデータを出納データベース15に蓄積することにより、家庭における入出金データを漏れなく管理する。

【0062】以上により、本発明の第2の実施例の動作が終了する。

【0063】本発明のこれらの実施例は、商店等での買い物データを、カードによる支払いの場合は銀行等より通信回線を介して送信し、カード以外の支払の場合は入出力媒体を介して受け渡すようにしたことにより、カード以外の支払方法で買い物等をした場合であっても、そのデータが家計簿に反映されるようにすることができるという効果を有している。

【0064】また、入金データを銀行等より通信回線を介して送信するようにしたことにより、入金データが家計簿に反映されるようにすることができるという効果を有している。

【0065】さらに、これらの方法によって自動管理できないデータについては、直接手入力できるようにしたことにより、家庭における出納データを漏れなく管理することができるという効果を有している。

【0066】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の家庭用出納データ自動管理システムは、家庭における出納データを漏れなく管理することができるという効果を有している。

【0067】また、カード以外の支払方法で買い物等をした場合であっても、そのデータが家計簿に反映されるようにすることができるという効果を有している。



【0068】さらに、入金データが家計簿に反映されるようにすることができるという効果を有している。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例の全体の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の一実施例における第1の入力部20の動作を示すフローチャートである。

【図3】本発明の一実施例における第2の入力部30の動作を示すフローチャートである。

【図4】本発明の一実施例における管理部10の動作を示すフローチャートである。

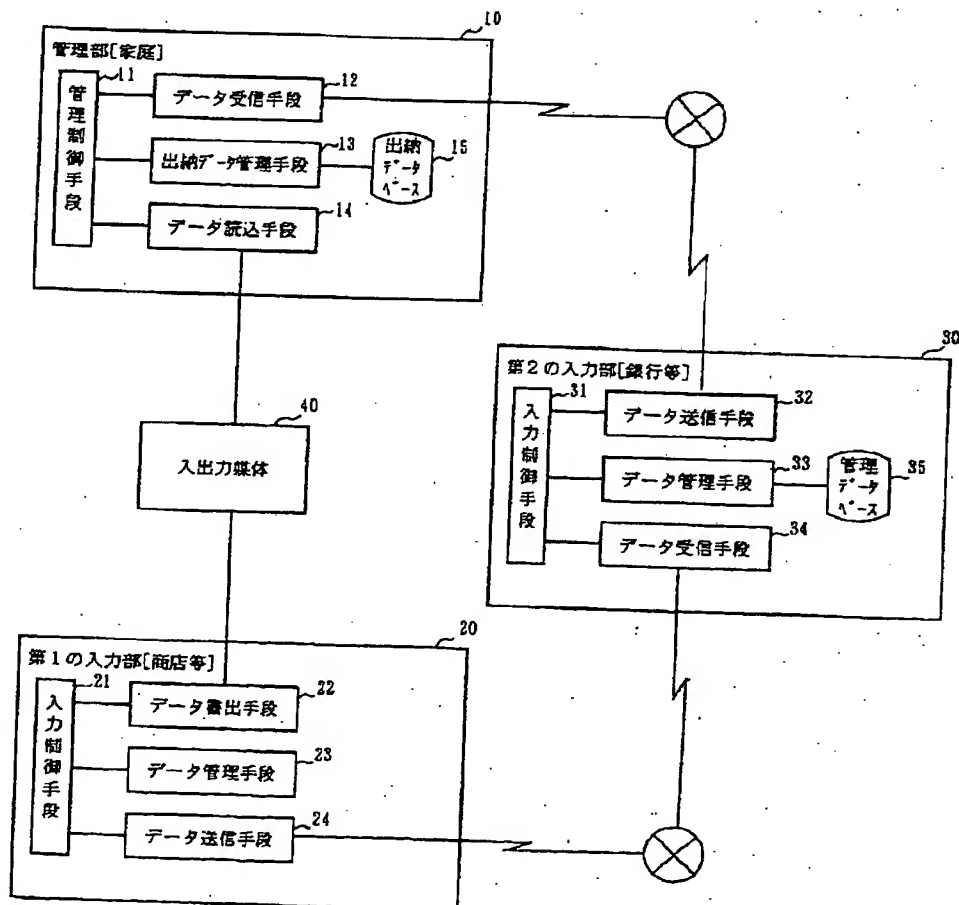
【図5】本発明の第2の実施例の全体の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

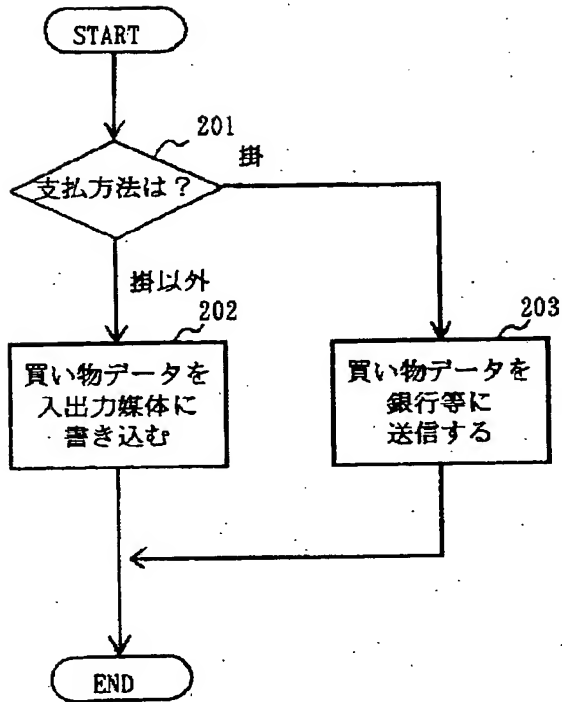
- 10 管理部
- 11 管理制御手段
- 12 データ受信手段
- 13 出納データ管理手段
- 14 データ読込手段

- 15 出納データベース
- 20 第1の入力部
- 21 入力制御手段
- 22 データ書出手段
- 23 データ管理手段
- 24 データ送信手段
- 30 第2の入力部
- 31 入力制御手段
- 32 データ送信手段
- 33 データ管理手段
- 34 データ受信手段
- 35 管理データベース
- 36 データ出力手段
- 40 入出力媒体
- 50 通貨流通部
- 51 通貨データ制御手段
- 52 通貨データ要求/受信手段
- 53 通貨データ出力手段

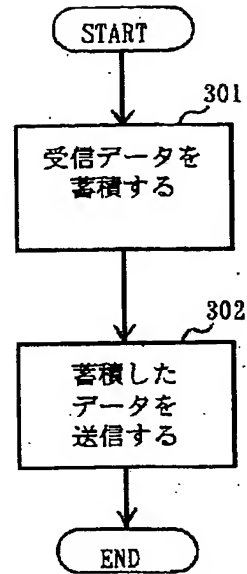
【図1】



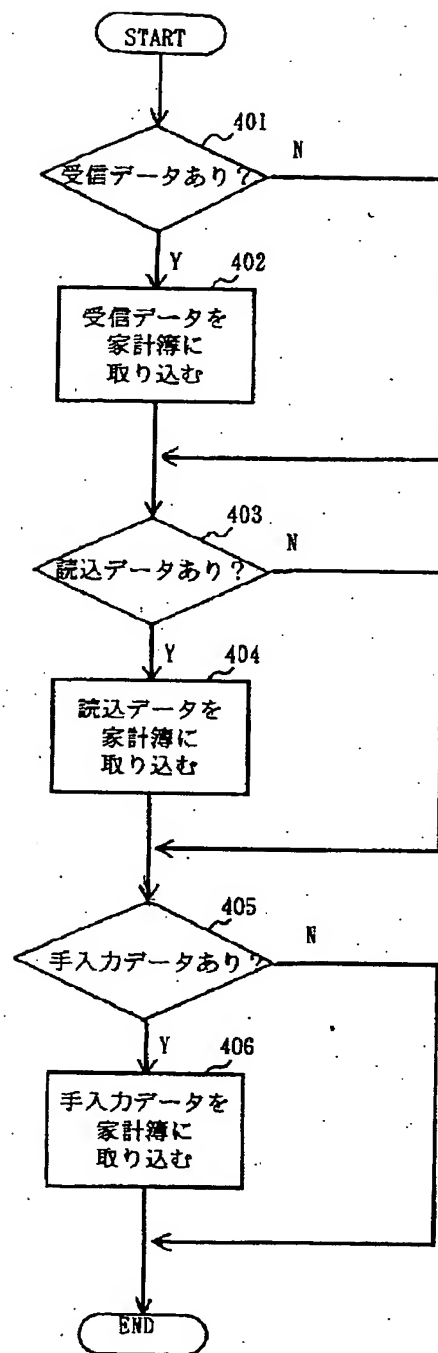
【図 2】



【図 3】



【図4】



【図 5】

